

「びわ湖の日」に関するアンケート結果

調査時期：平成 23 年 11 月

対象者：県政モニター350 人

回答数：294 人（回収率 84%）

担当課：琵琶湖環境部環境政策課

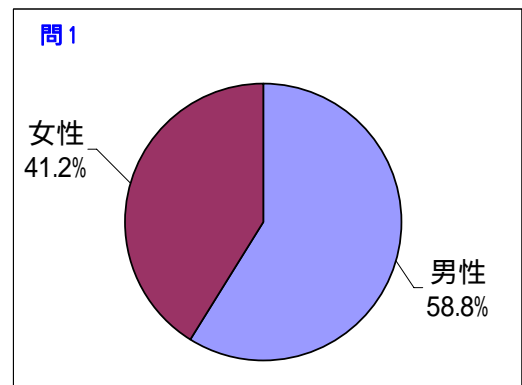
調査目的：

県は、環境保全について理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日として、「びわ湖の日」を定められています。

平成 23 年度は年間を通して、県、市町、民間等の多様な主体により、びわ湖の日に関連した各種事業が行われました。そこで、びわ湖の日に対する率直な意見をいただき、今後のびわ湖の日の取組の充実を図るため、アンケートを実施しました。

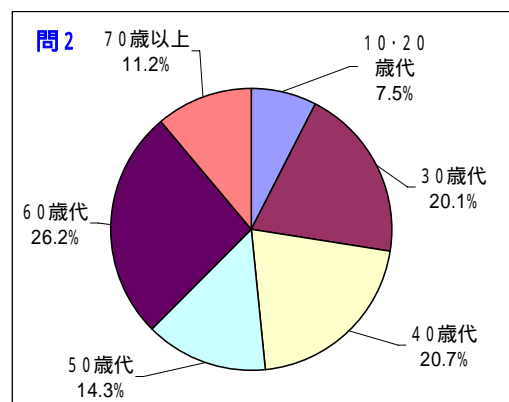
問1 あなたの性別を教えてください。

項目	人数（人）	割合（%）
男性	173	58.8%
女性	121	41.2%
合計	294	100%



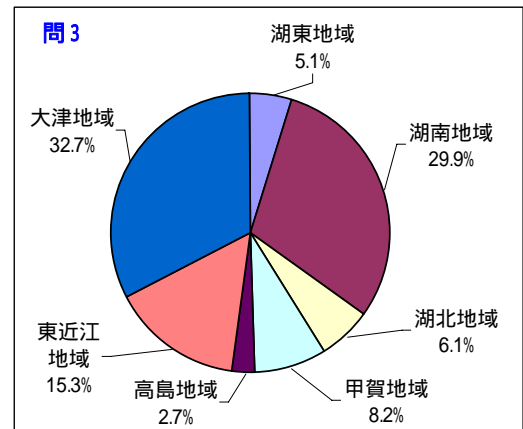
問2 あなたの年齢を教えてください。

項目	人数（人）	割合（%）
10・20 歳代	22	7.5%
30 歳代	59	20.1%
40 歳代	61	20.7%
50 歳代	42	14.3%
60 歳代	77	26.2%
70 歳以上	33	11.2%
合計	294	100.0%



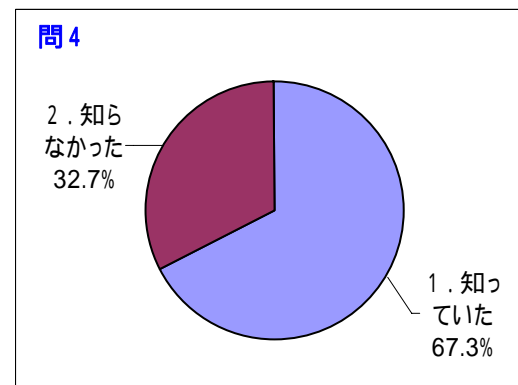
問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
湖東地域	15	5.1%
湖南地域	88	29.9%
湖北地域	18	6.1%
甲賀地域	24	8.2%
高島地域	8	2.7%
東近江地域	45	15.3%
大津地域	96	32.7%
合計	294	100.0%



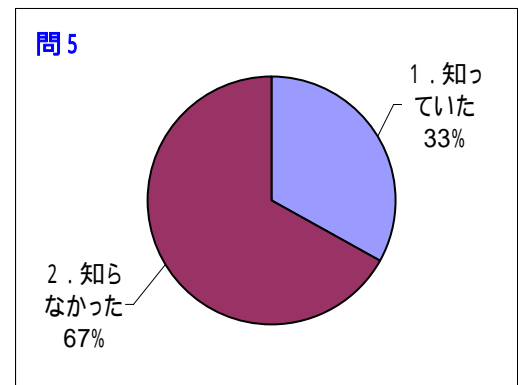
問4 7月1日がびわ湖の日であることを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	198	67.3%
2. 知らなかった	96	32.7%
合計	294	100.0%



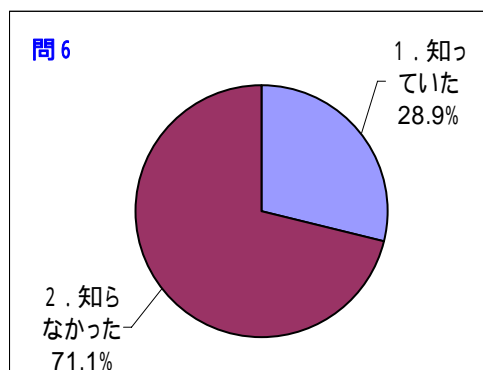
問5 びわ湖の日は、「滋賀県琵琶湖の富栄養化防止に関する条例」の施行日を記念して定められました。このことを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	97	33.0%
2. 知らなかった	197	67.0%
合計	294	100.0%



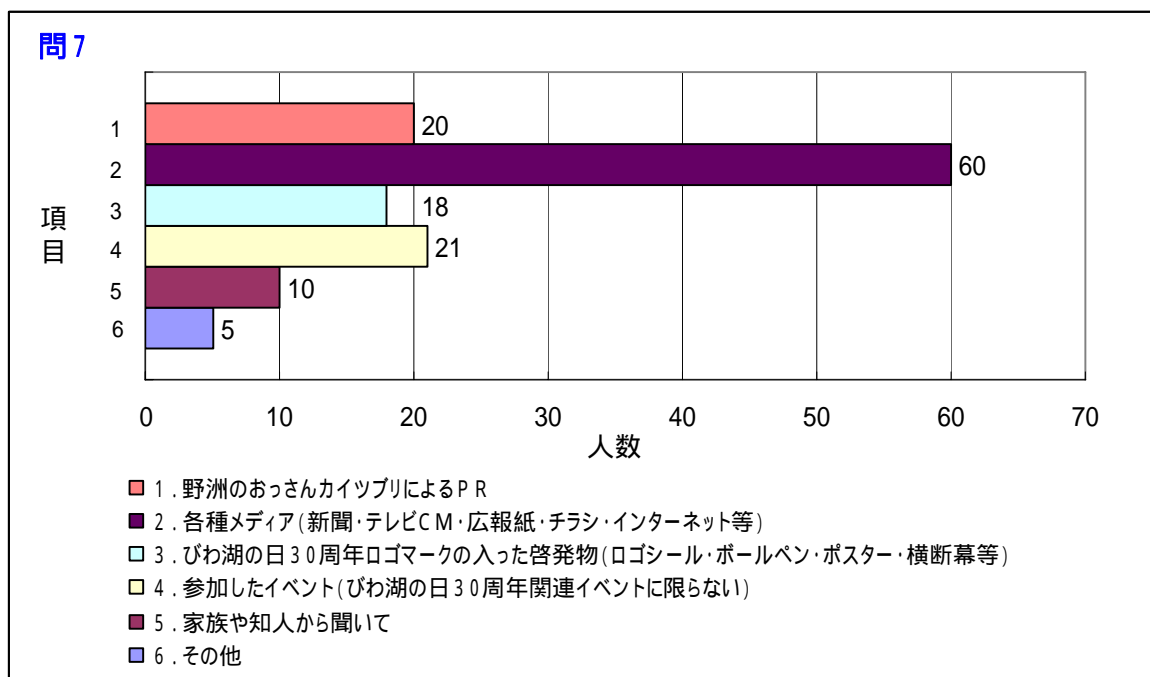
**問6 今年、びわ湖の日が定められて30周年目を迎えたことを知っていましたか。
(回答チェックは1つだけ)**

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	85	28.9%
2. 知らなかった	209	71.1%
合計	294	100.0%



問7 問6で「1. 知っていた」を選択された方にお尋ねします。びわ湖の日30周年を知るきっかけとなったのは何ですか。(回答チェックはいくつでも可)

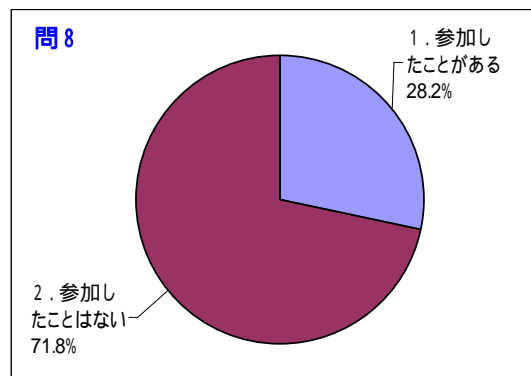
項目	人数(人)
1. 野洲のおっさんカイツブリによるPR	20
2. 各種メディア (新聞・テレビCM・広報紙・チラシ・インターネット等)	60
3. びわ湖の日30周年ロゴマークの入った啓発物 (ロゴシール・ボールペン・ポスター・横断幕等)	18
4. 参加したイベント(びわ湖の日30周年関連イベントに限らない)	21
5. 家族や知人から聞いて	10
6. その他	5
合計(延べ人数)	134



問8 問6で「1. 知っていた」を選択された方にお尋ねします。びわ湖の日30周年を契機に、県内では記念シンポジウムをはじめ、各種イベントが開催されています。これまでびわ湖の日30周年関連イベント()に参加したことがありますか。
(回答チェックは1つだけ)

添付ファイル「資料(イベント一覧)」

項目	人数(人)	割合(%)
1. 参加したことがある	24	28.2%
2. 参加したことはない	61	71.8%
合計	85	100.0%



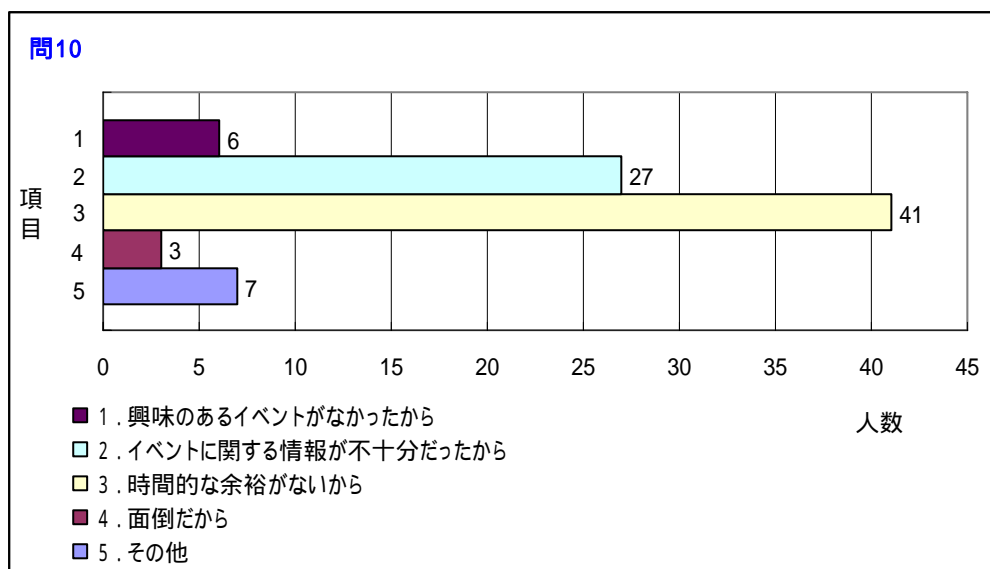
問9 問8で「1. 参加したことがある」を選択された方にお尋ねします。添付ファイル「資料(イベント一覧)」を参考に、これまで参加したイベント番号と参加した理由を教えてください。(いくつでも)

イベント	理由
2(第1回外来魚釣り大会)	琵琶湖の固有種を増やすためと生態系の保全
24(びわこルールキッズ事業)	
26(第2回外来魚釣り大会)	
23(水源の森ウオークと湖上タクシーからの琵琶湖観察)	カワウの現状をしり子どもラムサールに発表するため
6(あさ、ひる、ばん、博物館を楽しもう!)	琵琶湖博物館の有料ゾーンが無料になる日と分かり、過去にも子供を連れて琵琶湖博物館に行ったが、子供が博物館見学を楽しんだので、無料の日で、且つ様々なイベントが行われていたこともあり参加しました。
12(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター1日公開)	科学研究センターにとっても興味があったから
5(びわ湖の日一斉清掃)	毎年、自治会主催のびわこ一斉清掃に参加している。子供から大人まで、それぞれが、汗を流せて、非常に良い。
28(抱きしめてBIWAKO)	多数の人が目的を同じとして、琵琶湖を囲む素敵なイベントだと感じたため。
6(あさ、ひる、ばん、博物館を楽しもう!)	博物館に行ってみたかった。ピワコオオナマズを見てみたかった。さかなくんのイベントに興味があった。
28(抱きしめてBIWAKO)	思い出になるし、面白そうな企画だと思ったから
20(びわ湖大花火大会)	自宅近くの湖岸から毎年楽しんでいるため
12(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター1日公開)	琵琶湖湖底探査艇に興味があり参加。時間が短く多くは見る事ができなかったが、びわ湖がより身近になった。

回答総数 31 のうち 10 を抜粋

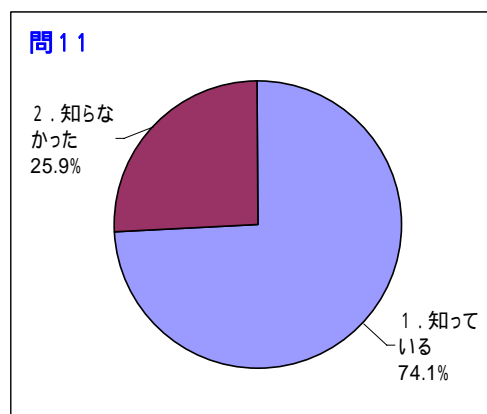
問 10 問 8 で「2 . 参加したことはない」を選択された方にお尋ねします。参加しなかった理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可)

項目	人数(人)
1 . 興味のあるイベントがなかったから	6
2 . イベントに関する情報が不十分だったから	27
3 . 時間的な余裕がないから	41
4 . 面倒だから	3
5 . その他	7
合計(のべ人数)	84



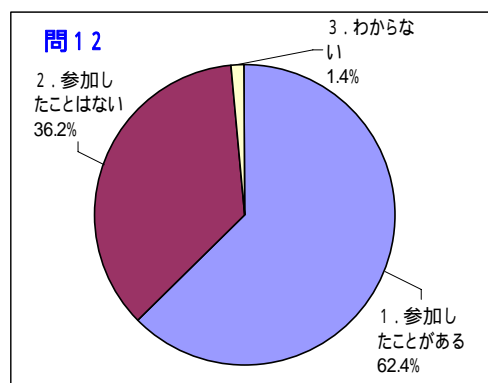
問 11 びわ湖の日は「滋賀県環境基本条例」において、環境保全について理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日として定められています。これまで、びわ湖の日を中心に、県内一斉に清掃活動が行われてきたことを知っていますか。(回答チェック 1 つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1 . 知っている	218	74.1%
2 . 知らなかった	76	25.9%
合計	294	100.0%



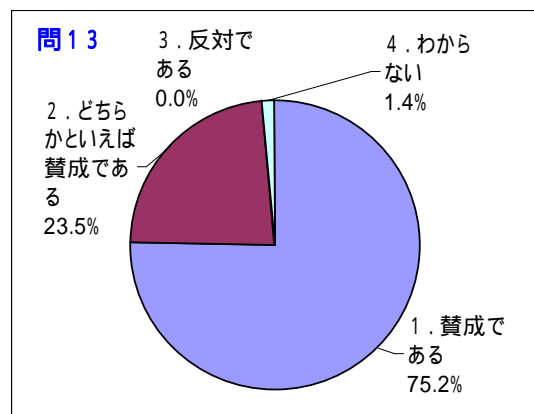
問 12 問 11 で「1. 知っている」を選択された方にお尋ねします。これまで、びわ湖の日の一斉清掃活動（びわ湖をきれいにする運動）に一度でも参加したことがありますか。（回答チェックは1つだけ）

項目	人数（人）	割合（％）
1. 参加したことがある	136	62.4%
2. 参加したことはない	79	36.2%
3. わからない	3	1.4%
合計	218	100.0%



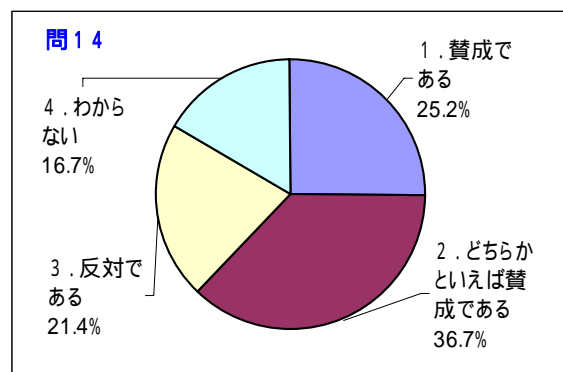
問 13 びわ湖をきれいにする運動に加えて、「豊かな生態系を守る」「びわ湖と関わる」といった視点でも、びわ湖の日に環境保全活動を行うといった考えについて、どのように思いますか。（回答チェックは1つだけ）

項目	人数（人）	割合（％）
1. 賛成である	221	75.2%
2. どちらかといえば賛成である	69	23.5%
3. 反対である	0	0.0%
4. わからない	4	1.4%
合計	294	100.0%



問 14 びわ湖の日を環境保全行動の日として、一斉に休暇をとって環境保全活動を行うといった考えについて、どのように思いますか。（回答チェック1つだけ）

項目	人数（人）	割合（％）
1. 賛成である	74	25.2%
2. どちらかといえば賛成である	108	36.7%
3. 反対である	63	21.4%
4. わからない	49	16.7%
合計	294	100.0%



問 15 問 14 で「 1 . 賛成である」、「 2 . どちらかといえば賛成である」または「 3 . 反対である」を選択された方にお尋ねします。問 14 で「 1 」「 2 」または「 3 」を選択された理由は何ですか。自由に記述して下さい。(1 0 0 字以内)

1 . 賛成である

- ・ 県民にとって、環境保全に対する意識が高まると思うのでとてもいいことだと思う。
- ・ 子供にも参加させマナーの一環として感じて欲しい。
- ・ 滋賀県の最大財産の管理を、皆さんで行うことは義務である。
- ・ 環境のために、有給休暇をとることにすれば、中小企業にとっても、本人にとっても能動的な使い方になる。
- ・ 日々、仕事でそのような行事に参加できないので、休みをいっせいに取り、みんなで一緒にびわ湖のためになにかできるのはとても良いと思います。
- ・ 他府県都市でもあるように、滋賀県だけの記念日を設け、何か活動をすることによって、県民の琵琶湖に対する知識や思いが深まると思うので。
- ・ 定年の年齢が延長する中で、地域の環境を保全する活動ができる方々が減少してきています。こうした現状を補完するうえで、一斉休暇は非常に大事なことであると思われる。
- ・ びわ湖は滋賀県の誇りであり、シンボル。その環境保全の為に休暇をとって行うのも良いことと思う。
- ・ 県民の義務として「びわ湖の保全」を体感する機会となる。
- ・ 親と子供が自然について、一緒に考え行動する良い機会になるとと思われる。

回答総数 64 のうち 10 を抜粋

2 . どちらかといえば賛成である

- ・ 一斉参加できればいいが、現実問題として休暇をとれない業種を考慮した上であれば。
- ・ 県内の企業、県民の意識向上には有効な手段であると思う。
- ・ 生活や仕事の状況に応じて、出来るだけ対応するというのが望ましいと思う。
- ・ 休暇を取れたら、一斉にするのも良いと思う。但し、強制でないという条件で。
- ・ 近畿の水がめとしての貴重な琵琶湖をいつまでもきれいに保つことが滋賀県民の役割だと思うから。
- ・ 無理矢理でも一斉休業をして環境への意識を高めるには有効と思う。
- ・ 強制的に休暇を取るほどのものではないと思う。週末にやれば良い。
- ・ 一斉に休暇を取っては、いろいろの制約もあり、如何なものか。ただし環境保全活動そのものは、大いに取り組んでいくことを望む。
- ・ 自分の住んでいる住環境を自分たちの手でせめて年 1 回「びわ湖の日」の日に合わせて近隣の人たちと汗を流したい。
- ・ 一斉休暇は難しいかもしれないが、学校で活動を行うのは良いと思う。

回答総数 100 のうち 10 を抜粋

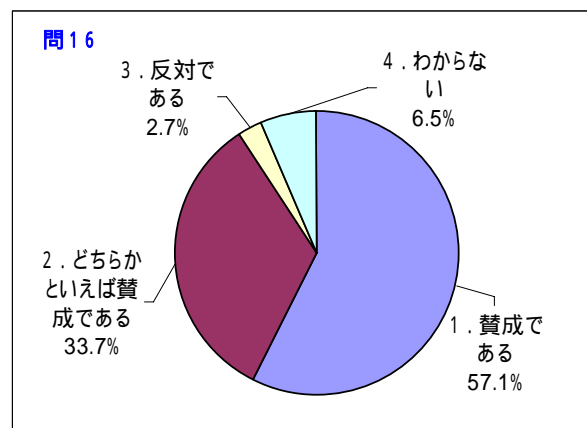
3. 反対である

- ・職の多様化で、一斉が成り立つのが疑問。
- ・「びわ湖の日」の認知度が低い時点では意味がない。周辺で知っている人は半分居なかった。
- ・県外勤務のものが多く滋賀県の現状にあわない。
- ・誰かに強制されてするものではないから。
- ・自主活動であり休日にまでする必要はない。
- ・一斉に休暇をとってというのは例えば、店が休みになると生活が困ると思います。
- ・一斉ということに抵抗がある。それぞれの生活があるからです。常日頃の環境保全がもっと大切だ。
- ・環境保全活動は、一日だけの活動に終わらずに、日常普段に行われるべきだと考えるために
- ・製造業の会社を営んでいます。環境保全活動自体は素晴らしいと思いますが、一斉に休暇なんてことになると事業が立ち行きません。県内の中小の現状をしっかりと認識してほしいです。
- ・民間人は簡単に休暇は取れない。ましてや、中小企業では理由は通用しない。

回答総数 60 のうち 10 を抜粋

問 16 びわ湖の日の成り立ちや活動について、県内だけでなく、県外または世界にも情報発信していくといった考えについて、どのように思いますか。
(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 賛成である	168	57.1%
2. どちらかといえば賛成である	99	33.7%
3. 反対である	8	2.7%
4. わからない	19	6.5%
合計	294	100.0%



問17 びわ湖の日に関して、今後、県、事業者、民間団体等に対して期待することがありましたらお聞かせください。(400字以内)

- ・民間団体の積極的な参加を呼びかけたい。いずれにしても、琵琶湖の恩恵を受けているから。
- ・野洲のおっさんカイツブリのびわ湖一周行脚は良いイベントでした。びわ湖放送での露出がたくさんあって、それが印象に残っています。地元テレビ局にはこのようなイベントの盛り上げを期待しています。
- ・今回の30周年、びわ湖の日イベントを行うことにより効果的であったことを滋賀(近畿一円)において良かったことをまとめ、今後の各団体の行うべきことを明確化すべきである。
- ・何かに参加することだけでなく自主的にテーマに取り組む姿勢が必要と思います。

- ・小学生の頃、学校で洗濯洗剤が琵琶湖を汚すという学習をしました。琵琶湖を大切にしなければと思える学習をたくさんできたおかげで、琵琶湖を大切にしなければいけないと小さい頃から感じていました。滋賀県民が守らなければならない大切な湖だと思っています。
- ・びわこの日を一年間に一回きりにしないで、大イベントをやるのではない小イベントでよいので、啓発の継続、アクションの持続になるような、月例の企画を考えるとよいと思います。夏には、琵琶湖一周サイクリングディーとか、水源の森を歩く企画とか、船から陸のほうを見て、琵琶湖一周のレイクから見たビューを動画で配信するとか、琵琶湖の底のリアルタイム映像とかいろいろ考えられます。琵琶湖が今どうなっているのか、見えるのか知ってもらえると思います。
- ・事業所は勿論私達もびわ湖に通じる河川などに「汚水を流さない」「びわ湖は大切に水がめ」という意識を持ち環境保全に努めたい。現に清涼飲料水メーカーではびわ湖環境保全の運動をしておりCMを見ると嬉しく思います。
- ・企業や学校へ「びわ湖の日」を今以上に情報を伝え、協力を要請する。特に大きな企業、高等学校、大学などに浸透を図るべき、県立の学校への課外活動としての参画要請をしてはどうですか。
- ・びわ湖の日は、県は市と連携し、市は町と連携し、県民ができるだけ全員参加して、まちをきれいにする日にしてもいいと思う。事業者や民間団体も積極的に職員を参加させ、事業者同士も協働をするやりかたを進め、みんなで環境を守ることを希望します。思いきって、できるかぎり滋賀県民の休日として、まちを掃除する。 ゴミのない滋賀県をめざす
- ・みんなで一体となって取り組めばいい。学校でも教えればいい。環境問題は一部の人だけの問題ではなく、全体の問題である。だから、みんなが取り組まないと解決しない。とにかく、滋賀県が先頭となって、県内だけではなく全国的にも世界的にもリードしていくくらいの意気込みと行動力・発信力が欲しい。
- ・びわ湖の日を中心に様々な環境問題を意識し、具体的な清掃活動を広げていくことは大賛成ですが、更に県民の意識を拡大していくには、やはり県、事業者、民間団体が連携をとりながら参加者拡大の知恵を出していくことが大事だと思います。事業者においては、会社の行事の一環に組み込んでいくことも大切だと思うし、そういうことに積極的に参加をしている企業の名前を県が公表し、アピールしていくことも大切だと思います。私自身が、びわ湖の日を知らなかったこともあり、どれほどの県民が知っているのが疑問です。情報の発信方法も考えていくことも大切だと思いました。
- ・特になし。県民はびわ湖を常に守る必要があり、色々なイベントを実施している。この日だけに何か期待するのではない。
- ・今、滋賀県は大阪や京都への通勤に便利な都市として、県外からの転入者が多いと感じる（私もそうなので）。県外から転入してくると、滋賀県独自の取り組みについて知る機会がなかなかない。「びわ湖の日」についても、意識していないと知る機会がない。だからこそ、琵琶湖について知る機会をたくさん与えて欲しい。
- ・一覧でイベントが見れるよう、県のホームページでイベント一覧を公表してほしい。終わってから見ても意味がないし、こういった取り組みは、分かり易く前もってホームページや広報で紹介してほしい。ちっとも知らないイベントが多かった。びわ湖の日だけでなく、全ての県内（滋賀関係の県外でも）のイベントを一覧にして分かり易く、教えて欲しい。県・市・一般のイベントがバラバラで分かりにくい。
- ・びわ湖は滋賀県のみならず、京都、大阪の水源です。人間の生活に欠かせない生活水の供給源であることを近畿全域の人に認識していただきたい。そのうえで、水源をかかえる滋賀県の住民はびわ湖の保全に心して取り組んでいただきたい。県、事業者、民間団体には上記趣旨を踏まえた広報活動を積極的に行っていただきたい。
- ・7月1日は梅雨のど真ん中。もっと気候のよい日に変更できないものか。
- ・びわこの日のイベントに車での参加者が集中して周辺道路が大渋滞になることがあった。本来、環境を守ることをきっかけとして制定された日であるのだから、公共交通機関を利用しての参加のみに制限するなど、より一層環境を守るという視点からの活動となるよう、県民への啓発を進めていただきたい。

- ・琵琶湖の外来魚の駆除に努力されて、一時より生存数が減ってきたのは皆が努力した結果で評価に値する。しかし、琵琶湖を取り巻く平野や里山に外来種の植物等が増加しており、在来種に変化が出ている。それによって琵琶湖の自然に影響を与えると思われる。今後、県と各自治体が民間団体や事業者と協働する事でより一層湖水の浄化と南湖の水草の除去に努力されるよう期待します。水草からのバイオ燃料の事業化を一日も早く達成できるよう県は努力されたい。
- ・びわ湖の日を記念して、無料で遊覧船に乗せてあげられないでしょうか。(案)何日か、家族連れや一般の希望者100名限り、応募を募り、抽選できめる。またはワンコインだけで乗せてあげる等。
- ・びわ湖の日の環境保全イベント活動を行うにあたり、活動イベントの規模が小さく、認知度がまだまだ低い。その為参加者層がまだまだ限定的である。周知の手法を改め、「誰もが愛するびわ湖に対して・・・」とつなぐような活動の領域を開拓し、進めていく必要性がまだまだある。魅力性に富んだ内容の充実に期待する。

回答総数 177 のうち 20 を抜粋

問 18 その他、びわ湖の日について、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。 (400字以内)

- ・「びわ湖一周」を根付かせたいですね。学校行事で1泊2日くらいで自転車で一周させて、県民はみな「びわ湖一周」したことがある、といえるようになると、県民のアイデンティティにもなると思います。
- ・県内市町村のごみカレンダーに「びわ湖の日」を掲載して、保全活動のきっかけにしてはどうでしょうか。
- ・滋賀県に引越してくるまで、びわ湖の日があることを知りませんでした。滋賀県といえばびわ湖なので、滋賀県民以外にも、びわ湖の日を知ってもらってもいいかと思いました。
- ・以前住んでいた津市内の新興住宅地では、びわ湖の日(7月1日)の一斉清掃時に、自治会で各家庭ごとに1名以上の参加が義務づけられていた。正直、しんどい思いをしながらも清掃が終わったあとは、限りなく琵琶湖の恩恵を受けていることへの感謝と充実感を覚えた記憶がある。今は同じ津市内でも琵琶湖から遠いのとマンション住まいのためか、日常生活の中で、自治会との関係は希薄で、琵琶湖への意識も乏しくなっている気がする。びわ湖の日が地域の連帯につながる仕組みづくりをさらに期待したい。
- ・今後、びわ湖の日にびわ湖湖畔にヨシを植えていきたい。
- ・びわ湖の日を知らない人も少なくないと思うので、もっとアピールし、県民全員に周知する事が大切だと思う。琵琶湖がどんな役割を持っているのかを知る事によって、びわ湖の日を定めた効果があると思います。
- ・びわ湖の日の設定は、大切だが、その日だけで終わらせてよいのだろうか？
気がついたら直ぐ行えるようにしたほう(仕組みを作る)がよいと思う。
- ・小、中学校でもっとびわ湖の日のことを学ぶ機会を作ってほしいです。私の子どものころは、赤潮が発生した、せっけんを使おう、富栄養化防止条例が発令された、ということが、学校のポスターや新聞やテレビで目にし耳にする機会がありました。生まれたときから、当たり前のようにびわ湖が存在しじゃぐちをひねればきれいな水がでできます。その当たり前のことをずっと守っていくためには何をしなければいけないのかということ、今の子どもたちが常に目にし耳にしければ、びわ湖をきれいに、という気持ちは自然と身につくのではないのでしょうか。

- ・びわ湖の日に限定したことではないが、今でもあまりきれいだとは思えない。琵琶湖でシーカヤックしていて気がつくが、低木にひっかかったままの釣り糸は疑似餌、湖底にも大量の釣り糸・疑似餌が沈んでいるという（過去にダイバーが採取したものをみたことがある）。又、湖岸に違法投棄されたTVや家具、ゴミ。湖上に浮かぶペットボトルやビニール袋。特に夏場に多い油の浮遊、カヤックに黒く筋になってついています。南湖は臭くて冬場しか漕いでいられない…。これでは子供たちに琵琶湖の楽しさを伝えられないと思います。まだまだ琵琶湖は汚いんです！それをもっとアピールしないといけないと思いますし、琵琶湖で遊ぶ人のマナー改善を呼び掛けないといけないと思います。
- ・びわ湖の日に他府県などから来て琵琶湖を使っている人に、必ず清掃など何か一つしてもらうなどではどうか。
- ・活動的には、全県民に行きわたっているのかな？と思います。私も、第3者的にとらえている一人だと思います。大津など、琵琶湖が目の前、、、というような環境でなく、山の近くで生活する者にとっては、琵琶湖と言われても、、、という感覚もあります。県民みんながもっと意識を高められるようなイベントがもっとたくさんあればいいなと思います。
- ・びわ湖の日にちなんで、今は滋賀県民が行なっている、清掃活動を、外の県民も喜んで参加してもらえる様な。例えば、琵琶湖遊覧をプレゼントとか、滋賀県の社寺仏閣の無料開放とか、球技施設で交流試合とか、色々引き付ける催しが、必要です。
- ・琵琶湖というとなんとなく花火、よし、清掃のイメージしかわかないのもっと文化的な側面の取り組みも増やしてほしい。
- ・琵琶湖のまわりは思ったより汚い所が多く、よく湖畔の公園に行きますが、浜辺のゴミなど、県民として目を伏せたくない現状です。水も結構にごっている、泳ぐとたまに臭う、浜辺も汚い。正直、他県から見ても、滋賀＝琵琶湖であるのに、自慢できる湖ではないと時々思います。景色だけはいいのですが、びわ湖の日があるのも知りませんでした。環境保全運動をされているのであれば、是非参加したいと思います
- ・最もびわ湖に親しめる時期でもあるため、1日は、滋賀県として一斉清掃等の取り組みとし、7月については、「びわ湖ふれあい月間」等として、それぞれの市町村がそれぞれにびわ湖と触れ合う取り組みを進めていけるようにしていくともっと親しみのある地域に根ざした取り組みになっていくのではないかと思います。
- ・びわ湖の日について、県民で理解していない方が多いと思います。県民が理解できるよう、PR等を行い、できるだけ多くの方に参加できる環境整備を希望します。
- ・びわこ周遊の通勤通学連絡船の運航などで、身近な水に親しむことのできる交通手段へも取り組みを広げて、日常的にびわこの存在に係われる施策を発案して、記念日だけでなく恒常的な取り組みをお願いしたい。
- ・7月1日だけでなく毎月1回は清掃する必要がある
- ・私はびわ湖検定にてびわ湖の日を知りました。もっとびわ湖検定の推進をして欲しいし、この期間にかなり滋賀県の良いところがわかりました。住民の滋賀県への誇りを高めること間違いなしです！問題を勉強していて各市町村によって力の入れ方に相違があり各地を回っているうちに惜しい気持ちがありました。話がそれましたが、そのような観点からびわ湖の日の年間行事も推進をして欲しいと思います。可能な限りいろんな行事に子供と共に参加してゆきたいと思っています。
- ・滋賀県で生まれて育ち環境問題にも関心を持っていますが、「びわ湖の日」というものがありそれが7月1日であり、富栄養化防止条例（これは知っています。）の施行日からきたものということは、このアンケートを読み始めて知りました。しかし私の周囲の人々の多くは、私よりはるかに環境問題に関する意識が低いことは断言できます。つまり県民の大多数は知らないと思います。何か県が発信している情報が県民に全く伝わっていないのではないのでしょうか